

環境大臣政務官  
鬼木 誠 様

国の施策等に関する  
提案・要望書

(平成28年2月)

鳥 取 県

# 再エネ等を活用した水素ステーション整備について

## 《提案・要望の内容》

- 本県では、CO<sub>2</sub>フリーな水素供給を目指し、太陽光など再生可能エネルギーを活用したスマート水素ステーションの整備を検討しており、本県が実施する水素エネルギー実証拠点整備プロジェクトに対して支援を行うこと。
- あわせて導入促進を図るため、寒冷地仕様など地域の特性に応じたイニシャルコストへの補助などの制度拡充を行うこと。

## <参考>

本県では、「水素社会」の実現に向けて、「鳥取県水素エネルギー推進ビジョン」の策定や再エネ由来の水素ステーション、水素利活用のスマートハウスなどの実証拠点の整備を検討している。

### 1 鳥取県水素エネルギー推進ビジョン策定に向けて

「水素社会」の実現に向け、本県としての中長期的な取組方針の策定作業をしているところ。

#### <ビジョン検討会の創設>

- ・大学、自動車メーカー、ハウスメーカー、地元ガス事業者、環境省等で構成。
- ・年二回開催し、年度末までに策定。

#### <骨子案>

##### ①FCVの導入加速に向けた環境整備

(当面の取組) FCVとスマート水素ステーションの導入

##### ②水素エネルギーを活用した家庭・事業所の省エネ・再エネ化の推進

(当面の取組) 水素利活用のスマートハウス実証拠点整備と各家庭への助成制度の創設

### 2 鳥取県水素エネルギー実証拠点整備プロジェクト

鳥取県として、水素社会の実現に向け、FCVの導入、再エネ由来のスマート水素ステーションの整備、水素利活用のスマートハウス整備など世界初となる三位一体の実証拠点整備を検討しており、1月25日に、鳥取ガス株式会社、本田技研工業株式会社、積水ハウス株式会社、鳥取県の4者で事業協定を締結したところ。

#### <運用開始時期>

平成28年度内

#### <整備内容>

- ①FCVの導入と太陽光発電により高圧水電解システムを稼働させ水素を供給するCO<sub>2</sub>フリーな再エネ由来のスマート水素ステーション(SHS)を整備。
- ②同エリアに鳥取の気象条件に適合したFCV対応可能な水素利活用のスマートハウスを実証事業として整備。  
併せて、子どもから大人まで水素エネルギーを学べる環境教育拠点として整備。